石井鶴三関連資料の寄贈図書について──サイン本を見る──

折　井　　匡　（信州大学附属図書館）

1.　受入

石井鶴三関連の図書は、2ヶ所から搬入された。1つは松本市美術館からで、2010年3月9日から11日にかけて962冊が搬入された。もう1つは高田馬場の長原ルリヤ邸から、3月30日に当館の職員が引取りに行き、25箱を受け入れた。図書だけは特別資料室に運び集めた。

2.　整理

（1）整理方針

2009年に、故柳沼重剛氏（柳沼コレクション）からの寄贈図書の整理経験から、石井鶴三関連図書もそれに準じた方法で整理することにし、次の方針により進めた。

概要

○資産管理上の寄贈者は、石井鶴三の法定相続人代理人である「岩部定男」氏とした。

○整理対象資料について：印刷・公表されたものを受け入れる。箱の中に書簡・スケッチブック、アルバム等が混入していた場合、書簡・愛蔵品等として扱う。

○資料に書簡等が挟まっていた場合、その書簡を取り出して保存用袋へ入れ、書簡として管理する。封筒には、資料名、挟まっていた頁等必要事項を記録する。

○資料につけられている付箋、しおり等はそのままとし、位置を動かさない。

○重複資料については、コレクション内での重複のみ考慮し、既に大学が蔵書としている図書については別とする。

○整理対象としない重複資料は一時保管した後、調査研究者（教員等）へ希望により配布する。

（2）整理方法

○ NDCに基づき分類をする。請求記号の3段目に「ISHII」と記入する。

○ NACSIS-CATへの登録は通常通りとし、特別な記載を登録しない。

○配架は0029「中央図＊（石井鶴三コレクション）」とし、サイン本・書き込みなどがある場合は、0003「中央図＊（書庫）」に配架する。目録の備考2に特記事項を記載する。（「サインあり」など）

（＊当時は松本合同図書館であった）

貴重書として書庫に配架する基準

・著者等のサイン、鶴三のメモ、その他「書き込み」があった資料

・謹呈紙があった資料

・和装本、極端に薄いもの、図集などバラバラになる恐れのあるもの。開架での管理に支障がある資料。

（3）装備

◯ラベル

・図書 ID: 本体のみ

・背ラベル : 紺色を使用し、3 段目まで。

・禁帯出シール : 必ず貼付（全て禁帯出とする）

・タトルテープ : 通常どおりに貼付

なお、資料の状況に応じて、箱にも背ラベル、禁帯出シールを貼る。

・天に「信州大学附属図書館蔵書」を押す。

・図書本体に、配架先・分類番号は記載しない（一般図書とは違う）

・箱・カバー・帯等は残す。（一般図書の場合は廃棄）

（4）配架

一般図書は 2 階第 2 閲覧室の柳沼コレクションの隣に NDC 順に置く。

貴重書は 1 階第 2 書庫の 96 番書架に置く。

（5）整理結果

整理は、2010 年 6 月 15 日に第 1 冊が登録され、全ての箱が終わったのが 10 月 27 日で 1,261 冊であった。日常業務の合間に作業を行った事と、今回初めて NII に登録する図書が 228 冊と 2 割近くあったことにより、登録に時間がかかった。また年代的には戦前から戦後にかけての図書が多く、図書の紙質が酸性紙のため取り扱いに注意が必要であった事も理由に上げられる。

仮目録作成の途中で他の箱より発見された図書もあり、現在は 1,272 冊（Web 版にはリストを公開）となっている。

3. 鶴三コレクションの内容とサイン本

（1）日本十進分類（NDC）別種類

日本十進分類の類目別の冊数は、下記のとおりになった。

類目	冊数	配架 : 鶴三コーナー	配架 : 貴重書	
			和装本	貴重
0 総記	101	16	79	6
1 哲学	63	19	41	3
2 歴史	104	62	22	20
3 社会科学	54	35	7	12
4 自然科学	8	7	0	1
5 技術	11	7	0	4

6 産業	11	9	0	2
7 芸術	573	301	21	251
8 言語	42	9	31	2
9 文学	305	200	12	93
計	1,272	665	213	394

一番多いのは 7 類の「芸術」で、次に 9 類の「文学」と続く。

（2）要目別

同一類目に 10 冊以上所蔵する上位 32 番までについては下記のとおりである。

分類番号順リスト

分類番号	順位	要目	冊数	貴重書	和装本
031	3	百科事典　日本語	79	79	79
123	17	中国思想　経書	24	24	24
157	26	報徳教 . 石門心学	12	12	12
210	16	日本史	26	13	12
282	30	伝記　アジア	10	10	10
291	8	地理 . 地誌 . 紀行　日本	38	12	
308	31	社会科学　叢書 . 全集 . 合集	10	0	
380	27	風俗習慣 . 民俗学	12	9	
702	12	芸術 . 美術　芸術史 . 美術史	28	13	
703	32	芸術 . 美術　書誌 . 辞典 . 便覧 . 名簿など	10	4	
704	22	芸術 . 美術　論文・講演集 . 美術評論 . 雑書	17	7	
706	24	芸術 . 美術　学会 . 団体 . 会議	15	5	
708	6	芸術 . 美術　叢書 . 全集 . 合集	43	26	
709	23	芸術 . 美術　芸術政策 . 文化財	16	3	
710	29	彫刻	11	5	
712	5	彫刻　彫刻史 . 各国の彫刻	53	21	
720	19	絵画	21	1	
721	10	絵画　日本画	36	20	
723	2	絵画　洋画	106	43	
724	13	絵画　絵画材料・技法	27	22	
725	20	絵画　素描・描画	20	6	
726	14	絵画　漫画 . 挿絵 . 童画	27	12	
728	11	書 . 書道	31	22	15
732	18	版画　版画史 . 各国の版画	22	12	
733	28	版画　木版画	12	9	
821	15	中国語　音声 . 音韻 . 文字	27	27	27
910	21	日本文学	18	6	
911	4	日本文学　詩歌	55	25	
913	1	日本文学　小説 . 物語	108	21	
914	7	日本文学　評論 . 小品 . 随筆	40	22	
918	9	日本文学　作品集	37	3	
921	25	中国文学　詩歌 . 韻文 . 詩文	14	13	12

冊数が多いのは 913 の「日本文学　小説・物語」108 点で、723「絵画洋画」の 106 点と続く。

4. 貴重書について

貴重書は第 2 書庫の貴重書を集めた書架 96 番に集めた。その後第 2 書庫のカビ対策のため一時避難の後、2012 年 2 月 21 日に、旧倉庫を改造して「石井鶴三貴重書庫（仮称）」とし移動を終えた。

貴重書は下記 3 つを集めた。

①著者等のサイン、鶴三のメモ、その他「書き込み」があった資料

②謹呈紙があった資料

③和装本、極端に薄いもの、図集などバラバラになる恐れがあり、開架での管理に支障がある資料

資料整理時に外見にて③を判断し、資料の内部の書き込み等を発見することで①と②を分類した。

①と②の数は次のとおり

		分類番号									
理由	冊数	0	1	2	3	4	6	7	8	9	計
①印あり	6			1				3		2	6
①サインあり	107	2	1	6	2			45		51	107
①書き込みあり	37			3	2			24	2	6	37
①紙あり	46	2	1	2	3	1		27		10	46
①破損	6		1	2				3			6
①他	1	1		5	5	4	2	124		17	158
②謹呈紙あり	34	1		1				25		7	34
合計	237	6	3	20	12	5	2	251	2	93	394

5. サイン本について

（1）貴重書の中にある「サインあり」の図書 107 冊の発行年別冊数は次のとおりである。

発行年	冊数
1905	1
1920	1
1921~1930	13
1931~1940	16
1941~1950	28
1951~1960	27
1961~1970	8
1971~1980	4
1981~2000	5
不明	4
	107

（2）2冊以上サイン本がある作者を調べた。

12冊　中川一政（画家）

6冊　小杉放庵（画家）、石井柏亭（画家）

4冊　岩本素白（本名堅一）（国文学者）

3冊　窪田空穂（歌人）、海音寺潮五郎（作家）、木村荘八（画家）

2冊　滝井孝作（俳人）、前川千帆（版画家）、恩地孝四郎（版画家）、今泉篤男（美術評論家）

（3）ジャンル別にどんな職業人からの寄贈か調べた。

画家	36冊
作家	15冊
版画家	13冊
歌人・俳人	6冊
国文学者	4冊
ジャーナリスト	3冊
彫刻家	3冊
その他	27冊

（4）サインの場所について

①見返し　89冊

②標題紙　13冊

③目次　1冊

④本文中　3冊

⑤奥付　1冊

（5）サインの内容

A. 著者名だけのもの　12冊

B. 著者名と宛名のあるもの　89冊

（うち「著者」だけで本人の名前のないもの18冊）

C. 宛先だけのもの　6冊

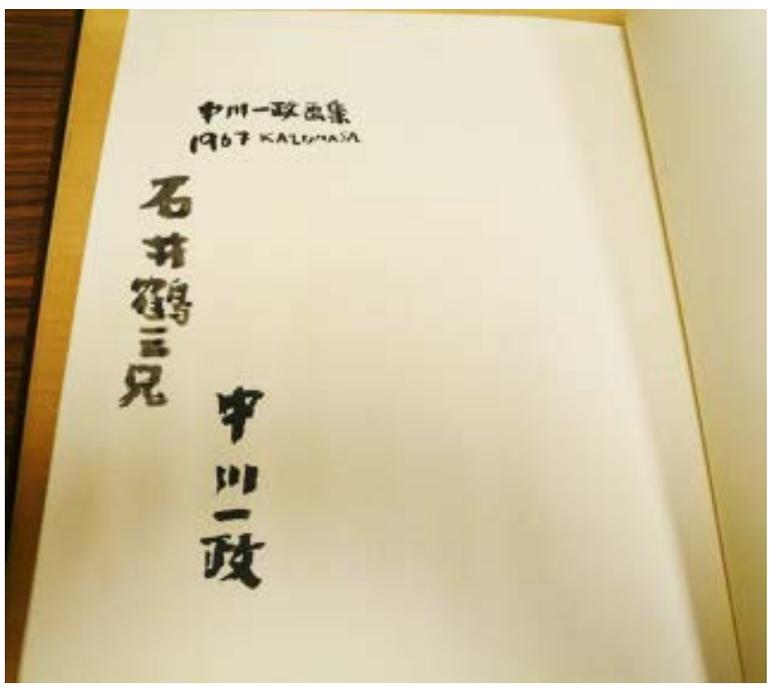
D. その他　①和田宛　3冊

②渓子宛　3冊

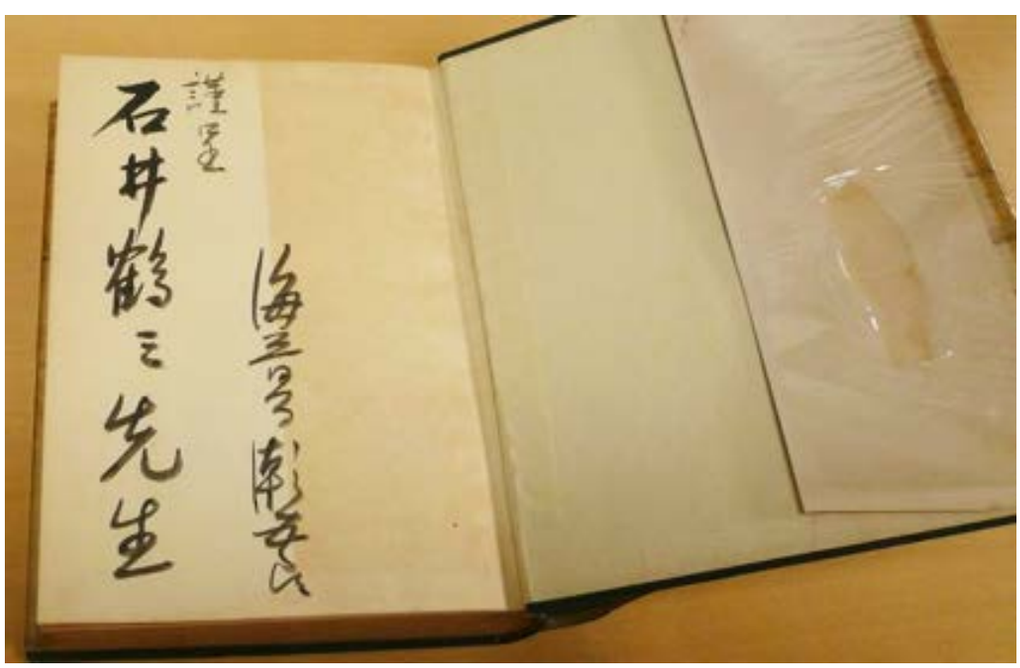
③故石井鶴三宛　1冊

（6）サイン本の例

①中川一政　「中川一政画集」見開き



②　海音寺潮五郎　「蒙古来る　上」見開き



③石井柏亭　「北欧の山　南欧の水」 見開き

④特別資料室　サイン本